

# 同志社女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士課程(前期) 履修モデル

## 1. 看護学研究分野

看護学研究分野では、「共通科目」の履修をとおして、看護学研究や実践を支える基礎的理論、研究手法を修得し、研究倫理に関する理解を深めるとともに、「専門科目」である「看護学研究科目」を履修することにより、生涯発達の視点で対象及び家族、健康に関する諸制度と看護の関係をそれぞれ理解することにより、様々な健康状態にある対象への看護上の課題に取り組む。そこで明確になった研究課題について、研究計画の立案からデータの収集、解析等を経て、「特別研究」で修士論文を作成する。

### 1) 組織での指導を担う看護職者を目指し、臨床看護学領域を主たる研究分野とした学生の場合

#### (1) 入学までのプロセス

大学看護学部を卒業後、A病院消化器外科病棟にて5年間勤務。勤務していく中で、構築してきた看護実践の経験知だけでは、実践の場で生じた課題解決に対処するには限界があり、研究的な視点を養いたいと考え、勤務先病院を退職して、大学院に進学した。

#### (2) 科目選択

①共通科目 (必修8単位, 選択4単位 計12単位)

看護学研究特論, 看護研究方法論, 理論看護特論, 看護倫理特論, 看護教育特論, 看護管理特論

②看護学研究科目 (臨床看護学領域 選択10単位)

成人看護学特論 I, 成人看護学特論 II, 高齢者・在宅看護学特論 I, 看護学演習

③特別研究 (選択8単位)

特別研究

(3) 修士論文テーマ 「内視鏡治療をうけた上部消化管がん高齢患者の退院後の日常生活に対する支援」

#### (4) 修了後の進路

修了後、B病院一般内科病棟に就職。職場では、病棟の教育担当として教育的・研究的指導を担う。

また、看護事象に対しての改善のための取り組みを積極的に行い、看護の質向上に努めている。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		履修年次		
			必修	選択	1年生	2年生	
共通科目	看護学研究特論	1春	2		○		
	看護研究方法論	1秋	2		○		
	科学英語論文クリティーク	1春	2				
	理論看護特論	1春	2		○		
	看護倫理特論	1春	2		○		
	看護教育特論	1春	2		○		
	看護管理特論	1秋	2		○		
	健康科学特論	1春	2				
	小計(8科目)	—	8	8		12	
看護学研究科目	臨床看護学	成人看護学特論 I	1春	2		○	
	成人看護学特論 II	1秋	2		○		
	ウイメンズヘルス特論 I	1春	2				
	ウイメンズヘルス特論 II	1秋	2				
	広域看護学	高齢者・在宅看護学特論 I	1春	2		○	
	高齢者・在宅看護学特論 II	1秋	2				
	公衆衛生看護学特論 I	1春	2				
	公衆衛生看護学特論 II	1秋	2				
	看護学演習	1秋	4			○	
	小計(9科目)	—	—	20		10	
専門科目	助産学実践科目	基盤科目	助産学概論	1春	2		
		リプロダクティブヘルス論	1春	2			
		ペアレンティング援助論	1春	2			
		妊娠期助産診断技術学	1春	2			
		分娩期助産診断技術学	1秋	2			
		産褥・新生児期助産診断技術学	1春	2			
		助産診断技術学演習	1通	2			
		地域母子保健論	1秋	1			
		助産マネジメント論	1秋	2			
		助産学実習 I	1春	2			
		助産学実習 II	1秋	7			
		助産学実習 III	2通	2			
	小計(12科目)	—	—	28			
	発展科目	赤ちゃん学特論	1秋・2秋	2			
		国際母子保健論	1秋・2秋	1			
		統合ヘルスクエア論	1秋	1			
		遺伝カウンセリング論	1秋・2秋	1			
		リプロダクティブヘルス演習	2春	1			
		高次助産診断技術学演習	2通	1			
		助産学実習 IV	2春	2			
助産学実習 V		2秋	2				
小計(8科目)	—	—	11				
特別研究	特別研究	2通	8			○	
	課題研究	2通	4				
	小計(2科目)	—	—	12		8	
合計(39科目)		—	8	79		30	